

支部長賞

はじめての手わ

鹿児島市立中洲小学校
一年 高橋 奈々心

手わニュースで、はじめて手わのことをしました。そのとき、二つ、手わをおぼえました。それは、ありがとうと、うれしいです。わたしは、たくさん手わをおぼえて、耳がきこえない人ともおともだちになりたいです。

おばあさんをたすけた

鹿屋市立高隈小学校
三年 西前 陽音

ぼくは、ちいきのおじいさんおばあさんのかいもののボランティアをしました。ふくろにつめたり、にもつをもったりしました。おじいさん、おばあさんにありがとうといわれて、きもちがよかったです。

私の責任

薩摩川内市立蘭傘田小学校
五年 野村 美月

私の登下校での心がまえ。一つ目は、一年生と手をつなぐ。二つ目は、一年生を道路側にしない。三つ目は、私も道路側からはなれて歩く。学年があがるたびに、下級生を守る責任が始めた。今日も一日、がんばろう。

私のできる小さなボランティア

鹿児島市立谷山中学校
一年 佐藤 千春

押しボタン式の信号に気づかない高齢者。私が前に出てボタンを押しても押しボタン式ということには、気づいていなそう。これからも気づかないままなんだろうか。でも大丈夫。また私が押してあげるから。

誰かのためにできること

神村学園高等部
三年 岩元 莉乃亜

「誰かのためにできること」は「自分のためにできること」でもあると思う。献血という血液リレーは私が誰かに繋いで、いつか誰かが私に繋いでくれるからである。目に見えない想いも献血で伝えられたらうれしいな。